

## 要請番号 (JL47518B01)

募集終了



| 国名    | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次              |
|-------|----------|------|------|----|------|-------------------|
| チュニジア | G153 音楽  |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2019/2 ・ 2019/3 |

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

文化省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

ダンス・音楽学院(モナスティール支部)

#### 3) 任地 (モナスティール県モナスティール市) JICA事務所の所在地 (チュニス県チュニス市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.5 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1986年に設立された音楽学院である。青少年の豊かな情緒、芸術的感性や美的感覚を育むことを目的とし、主に6～16歳までの生徒を対象に10年間のカリキュラムでアラビア及び西洋音楽のソルフェージュ、音楽理論、楽器(西洋楽器及び民族楽器)の指導などを行なっている。指導楽器は、ピアノ、バイオリン、ギター、フルート、ウードなど。現在楽器指導教師も含め約45名のスタッフがおり、生徒数は計約650名。年間予算は省庁予算で約360万円。過去2名の音楽隊員(ピアノとバイオリンの長期JV)を派遣した。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

当国では初等教育から音楽の授業があるが、学校に楽器が設置されていないため理論のみの学習となっている。そのため楽器演奏に興味を持つ子供たちは、放課後の時間帯(14時～20時)に、同学院のような地域の音楽学院に通っている(週1～2回程度)。同配属先には、ピアノ専攻の生徒が120名在籍しており、現在は5名の教師がその指導にあたっている。上記ピアノ隊員は、生徒の演奏技術の向上や、各教師による体系的な指導体制の構築を支援するべく、生徒への個人レッスンや、指導環境の整備、指導体制への提言等に取り組んできた。今後、それらの取り組み成果を定着、拡大するために、引き続きボランティアによる協力が求められている。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚らと協力し、以下の活動を行う。

- ①ピアノ科専攻生徒の個々の技術やレベルに合わせた演奏技術指導(レッスンは個人レッスンで、通常生徒1人につき週に1回、30～60分間行われている)。
- ②体系的なピアノ演奏指導体制の構築に向けた支援。
- ③学内コンサートや発表会など開催支援。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

個人ピアノレッスン室、レッスン用アップライトピアノ(ヤマハ製)、グランドピアノ(ヤマハ製)

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・ 学院長:40代、男性(バイオリン教師としての経験がある)
- ・ 全生徒:6～18歳程度約650名(うちピアノ専攻127名。演奏技術レベルは、入門～中級レベル程度。)
- ・ 配属先スタッフ:正職員5名、その他指導専門教師約40名。

## 5) 活動使用言語

フランス語

## 6) 生活使用言語

その他

## 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒）音楽 備考：業務上必要

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・演奏経験15年以上

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（5～45℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

### 【特記事項】

現地においては、仏語も通用するが一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。なお、正則アラビア語とアラビア語チュニジア方言には隔たりがある。